FUJITSU
shaping tomorrow with you

マルチクラウドのコスト可視化・最適化支援サービス

FUJITSU Cloud Service PICCO ご紹介

2020年 10月
富士通株式会社

Copyright 2020 FUJITSU LIMITED

目次

FUJITSU

- はじめに：クラウド利用におけるコストの課題
- クラウドコスト管理の現状と課題
- PICCOによる課題解決
- PICCOとは
- PICCO利用の流れ
- 導入･適用メリット①、②、③
- お客様事例

略語について

- 本書では、以下の略語を使用しています。
  - FUJITSU Cloud Service PICCO* ：PICCO
  - FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O: FJcloud-O
  - Amazon Web Services：AWS
  - Microsoft Azure：Azure
  - Google Cloud Platform：GCP

*PICCO：**P**rofile, **I**nsight, **C**ost & **C**apacity **O**ptimization

※ 本書に記載の画面イメージは、最新の画面と異なる場合があります。

Copyright 2020 FUJITSU LIMITED

はじめに：クラウド利用におけるコストの課題

FUJITSU

- クラウドサービスは、簡単にサービスを契約・利用でき、その便利さから日本企業の利用も増え続けています。

- 一方、企業の経営層や情報システム部門では、増え続けるクラウド利用をいかに効率よく少ない工数でコスト管理するかが課題となります。

- 発生コストを利用目的・利用部門などの単位で把握しないとコストが肥大化する可能性があります。

業務を支えるITの有効利用のためには現状把握は必須
普及するクラウド利用のコスト管理が急務

Copyright 2020 FUJITSU LIMITED

クラウドコスト管理の現状と課題

FUJITSU

■現状: 全社クラウドコストを情報システム部門が管理

■各クラウドから**コスト情報を収集、部門別に振分けを、手作業で実施**

■主な課題

■クラウドごとに料金形態や利用料の確認手順が異なり、
ICTコスト管理の作業負荷が高い

■日々の利用実績の確認や適正利用の指導ができず、
クラウド利用コストが増大

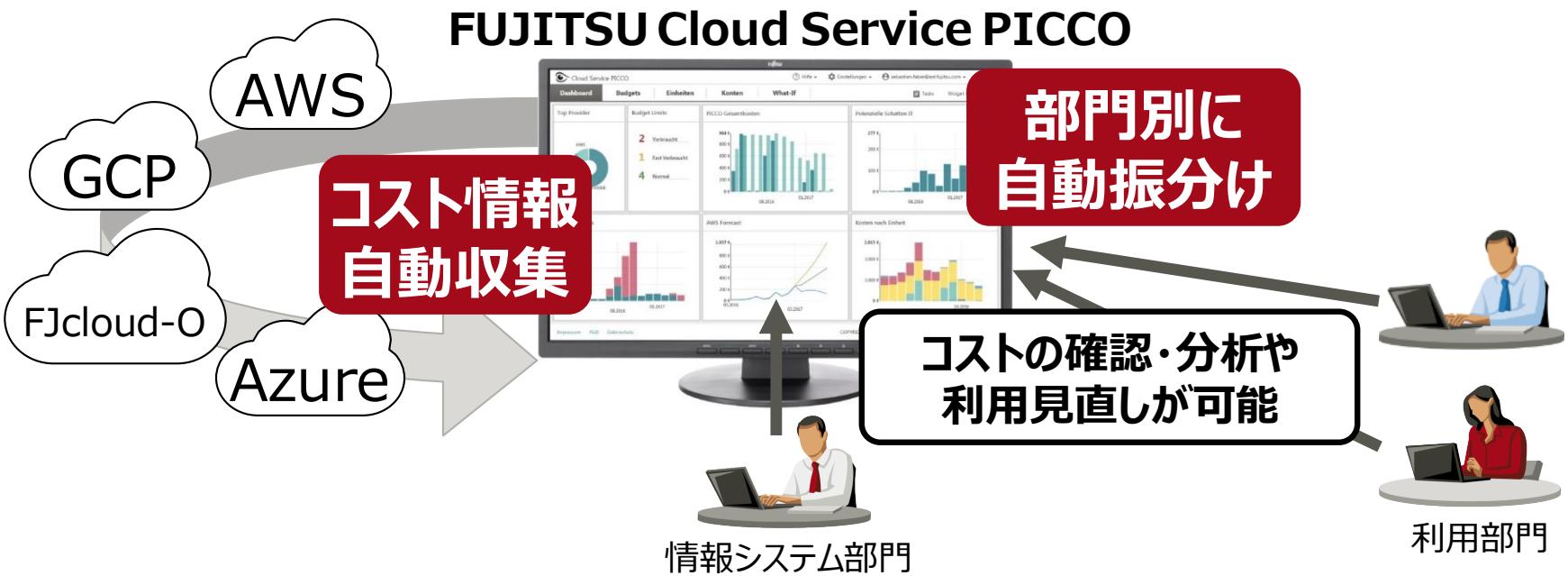
Copyright 2020 FUJITSU LIMITED

PICCOによる課題解決

FUJITSU

■マルチクラウドコストの管理・最適化を容易に

- ■各クラウドからコスト情報を自動で収集・振分けでき、コスト管理の**作業負荷を大幅に軽減**
- ■日次で利用実績を確認・分析でき、**予算超過を監視**
- ■インスタンスの利用見直し提案による、**コスト最適化**



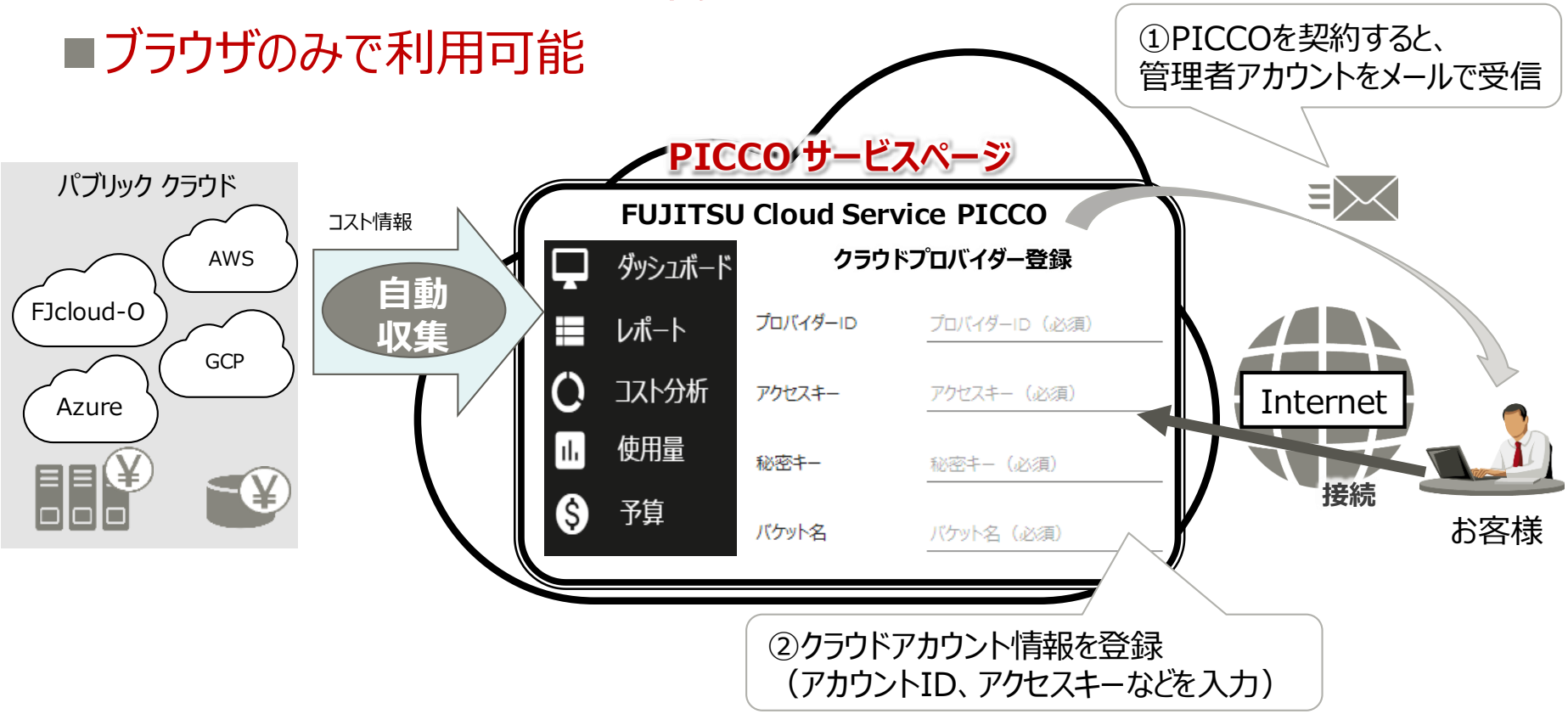
PICCOでクラウドコストを可視化・最適化

Copyright 2020 FUJITSU LIMITED

PICCOとは

■富士通が提供するクラウド型サービス

- ■インストールやメンテナンスが不要
- ■ブラウザのみで利用可能

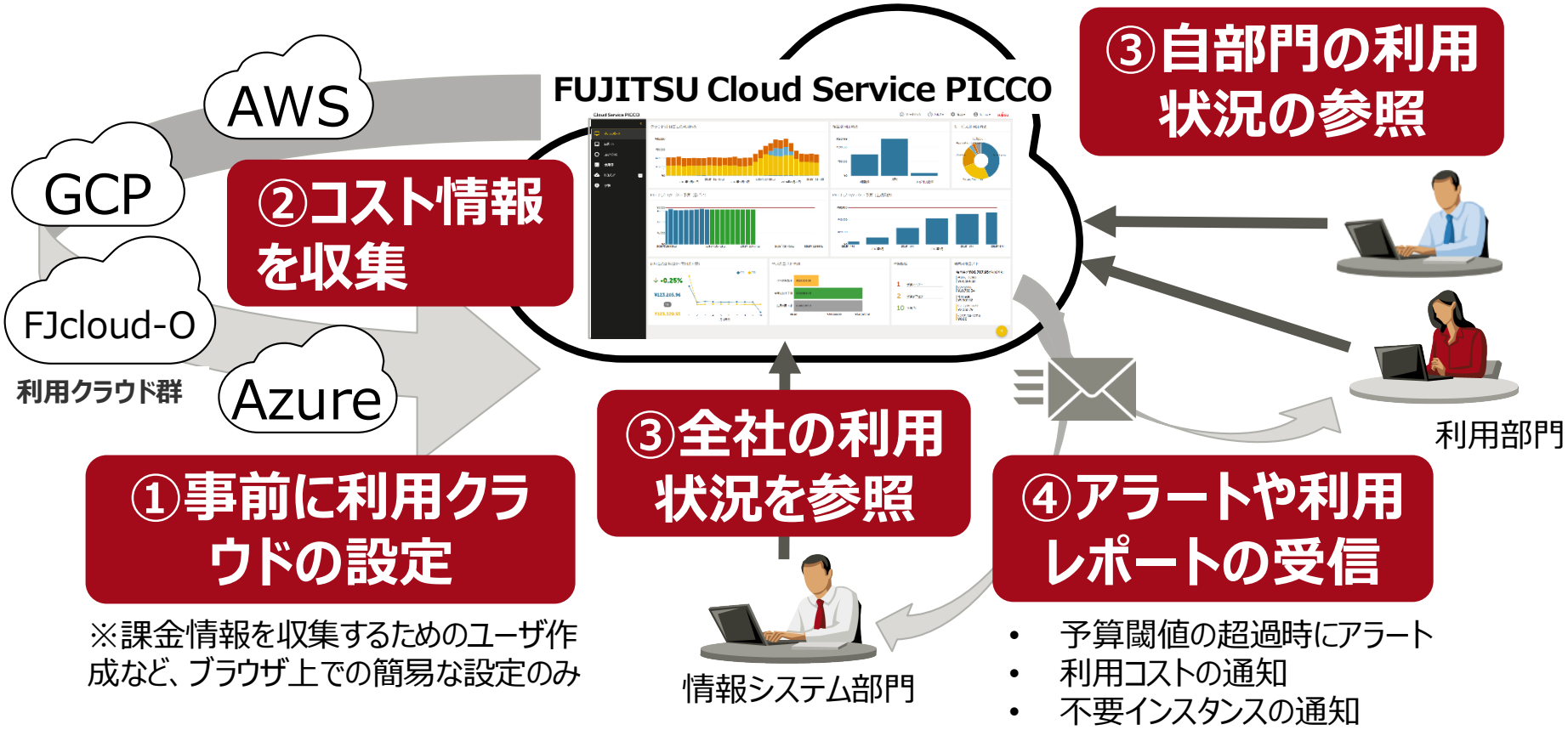


PICCOが各クラウド環境に接続し、各コスト情報を自動収集・集約。
お客様のクラウド利用料金の管理や最適化に活用できる

Copyright 2020 FUJITSU LIMITED

PICCO利用の流れ

① 情報システム部門が**利用クラウド上での設定**と、**PICCOでのアカウント登録**
② PICCOが**自動でコスト収集**を開始
③ インターネットとブラウザがあれば、**どこからでも利用状況を参照**
④ PICCOからのメールで、**アラートや利用レポートとして受信**可能

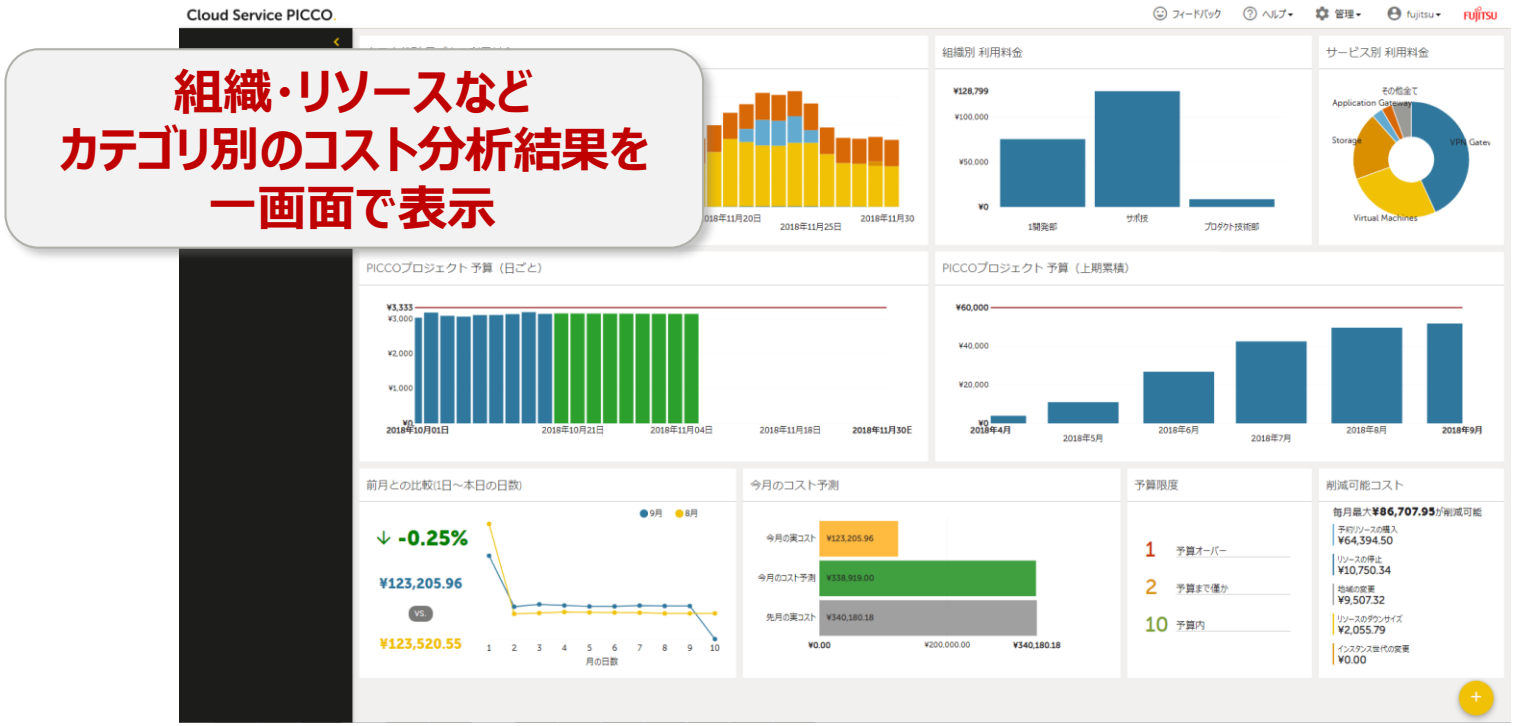


Copyright 2020 FUJITSU LIMITED

導入・適用メリット①

コスト管理の作業負荷を大幅に軽減

- 各クラウドの**コスト情報**が、複数観点のコスト分析結果として**一つの画面で把握**できる
- 組織やリソースごとなどの条件で、即時に可視化でき、ドリルダウンで、**日々の推移などの詳細情報を確認**できる

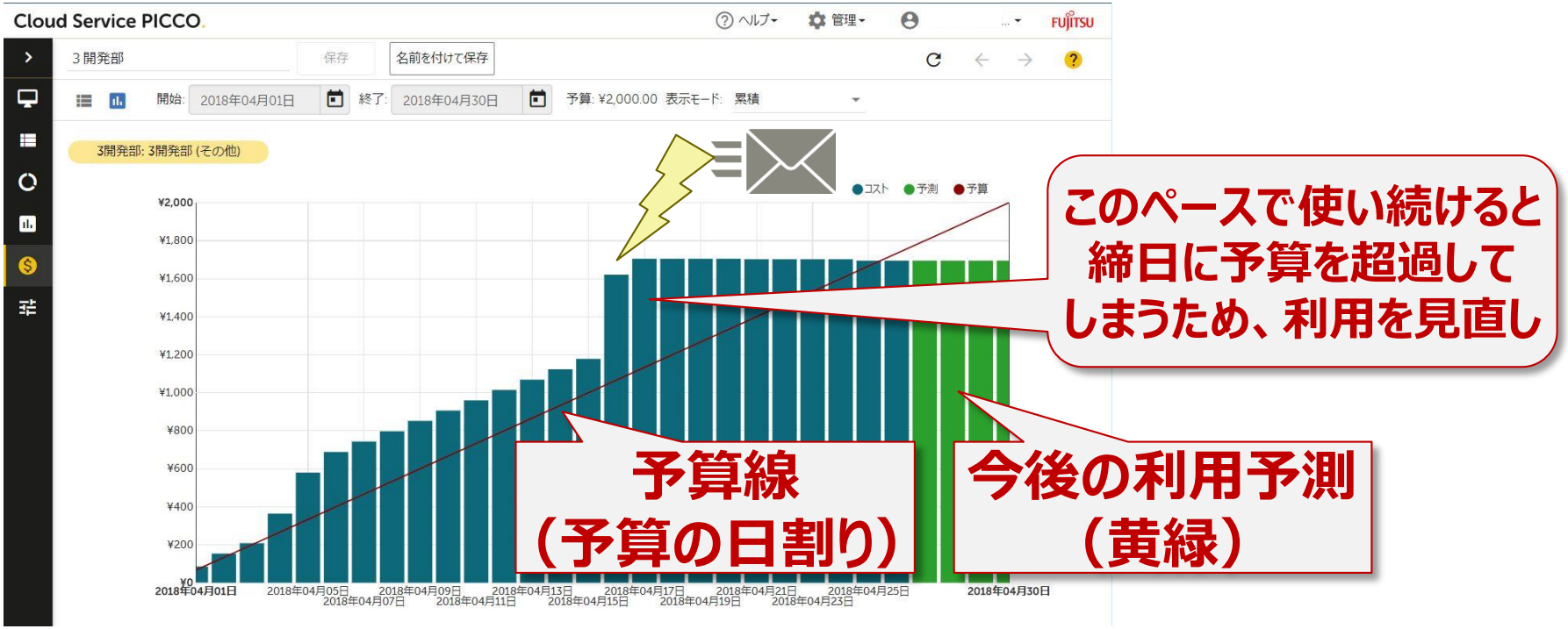


Copyright 2020 FUJITSU LIMITED

導入・適用メリット②

日次で利用実績を確認し、予算超過を防止

- コストを抑えるために、**クラウド利用料の上限**として、各部門に**予算を設定**できる
- 日次で更新されるコスト情報をもとに、**予算超過前にアラート**を受け取れ、**予算超過の防止**のための指導や勧告ができる



Copyright 2020 FUJITSU LIMITED

導入・適用メリット③

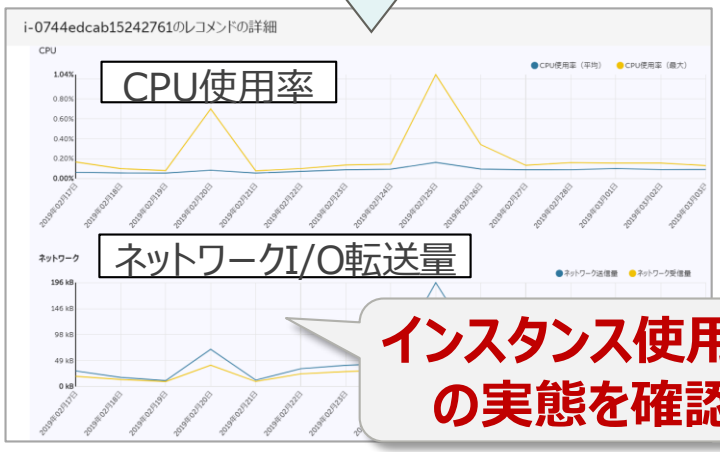
FUJITSU

インスタンスの利用見直しによるコスト最適化

■ CPU使用率とネットワークI/O転送量をもとに、
インスタンスのコスト改善方法を提案し、**コスト最適化**を支援*

コスト最適化に向けた具体的な改善方法を確認

対象リソース一覧と改善効果を確認



インスタンス使用量の実態を確認

＊ コスト最適化機能は現在AWS、Azure Online Subscription、Azure CSP に対応。
他クラウドについては、順次対応予定。

Copyright 2020 FUJITSU LIMITED

FUJITSU

shaping tomorrow with you